

生口橋

しまなみ海道に架かる複合斜張橋



施主	本州四国連絡橋公団
施工場所	広島県因島市
完成年	1991年
橋長	790m
形式	3径間連続複合斜張橋
全幅	23.9m(コンクリート橋部分)
支間構成	150m(PC) + 490m(鋼) + 150m(PC)
桁高	2.7m
架設方法	(コンクリート橋部分)張出し架設、支保工架設 (鋼橋部分)ジブクレーン架設
受賞	土木学会 田中賞 1991年
参考文献	橋梁と基礎 1991年 12月 プレストレストコンクリート 1993年 No.6

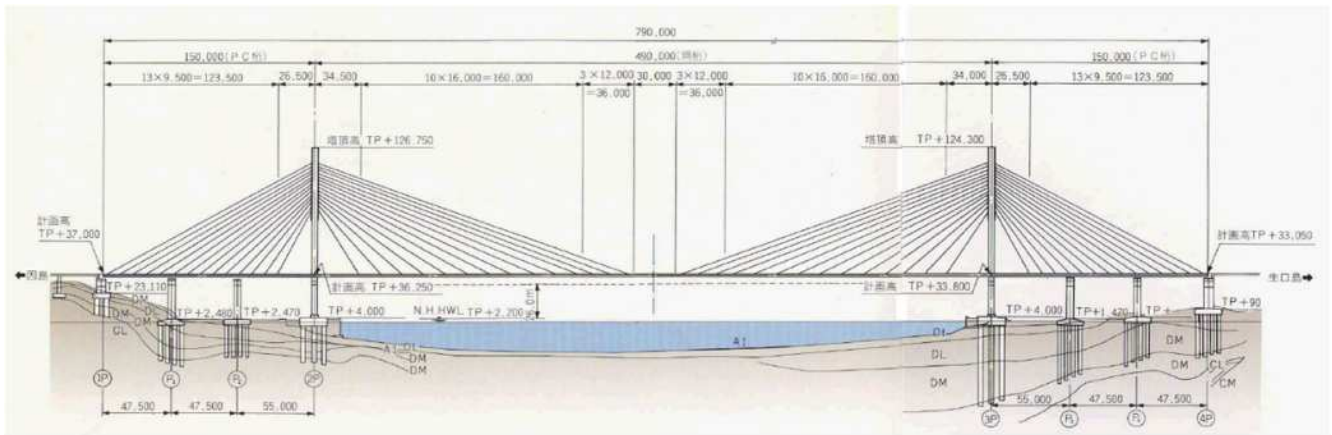


本橋は、中央径間に対し側径間が短いため、側径間部分をコンクリート構造にして自重のバランスを図った複合斜張橋である。

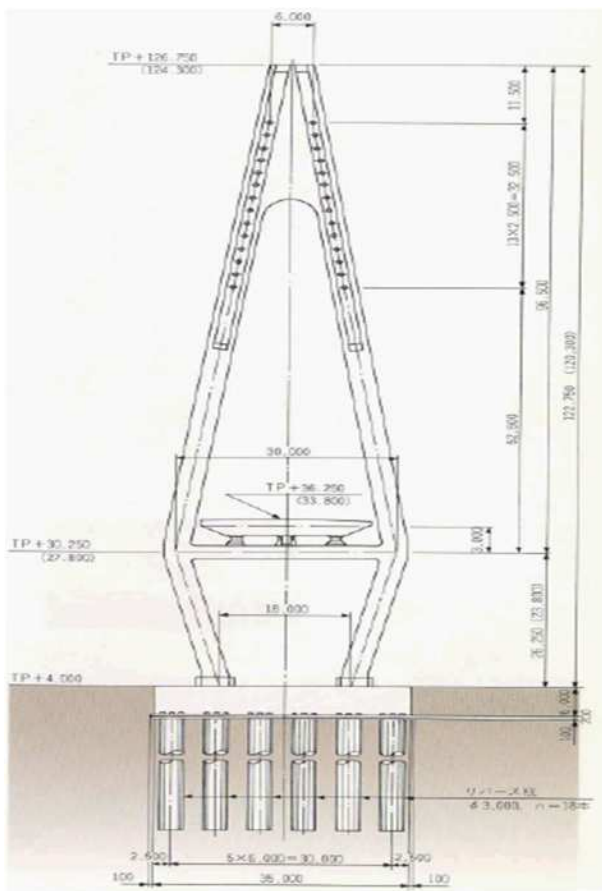
この種の構造形式では、日本で最初のものとなっている。

鋼桁とコンクリート桁の継ぎ目は、主塔の近傍に設けられ、鋼桁の中にコンクリートが充填された構造となっている。

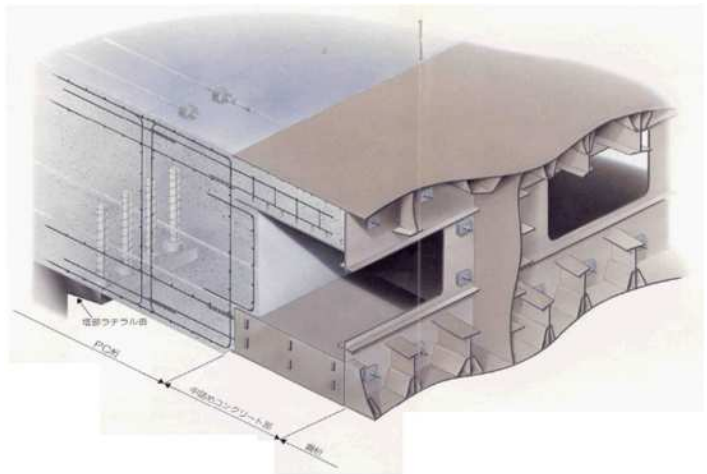
一般図



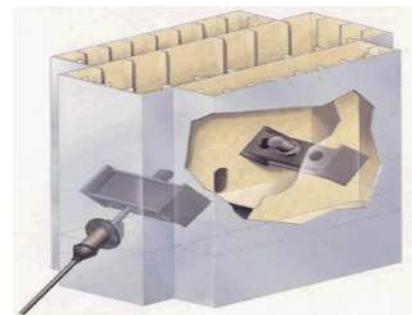
塔一般形状図



主桁接合部



塔柱ケーブル定着部



鋼桁ケーブル定着部



PC桁ケーブル定着部

